



会報

No.30

平成24年 3月 1日

桑高同窓会



【平成24年3月卒業生】

		男	女	計
全 日 制	普 通 科	162	156	318
	理 数 科	21	18	39
	衛生看護科(本科)	1	39	40
	衛生看護専攻科	0	37	37
定 時 制	普通科(三修制含む)	7	2	9
	合 計	191	252	443

御挨拶



桑高同窓会会長

西羽 晃

(全日制七回生)

昨年十二月の幹事総会にて桑高同窓会の第五代目会長に選任されました。一九五五(昭和30)年卒業の西羽(にしは)晃です。歴代の会長は山本重治郎さん、諸戸精文さん、水谷清作さん、小林昭三さんで、いずれも旧制桑名中学校を卒業された方であり、桑名経済界を代表し、桑名商工会議所の重鎮であらせられた方ばかりです。

それに引替え、私は全く非力な凡人です。図らずも今回会長という重責に選ばれたことは、誠に身に余る光栄ではありますが、その任を充分に果せるか、危惧しております。何卒ご叱咤、ご鞭撻の程をお願い申し上げます。

五十年以上前の桑高での三年間に私は信頼できる恩師に恵まれ、良き友人たちから刺激を受けました。思いつく限りはありませんが、この三年間での青春生活が、その後の人生の礎になって、今日に至っていると思っております。

現在、私は桑高のすぐ近くに住んでおり、母校の様子を毎日のように眺めています。また昨年三月までは

擽

学校評議員を、本年度は学校評議員をさせて頂き、桑高の様子に強く関心を抱いています。

創立百周年には記念誌「桑高百年」の編集を担当して百年の歩みをつぶさに検証させて頂きました。その中で感じたことは、桑高は「派手さ」は少ないが、キラリと光る人材が沢山居られることでした。この伝統は今後も続けなければならないと考えますし、同窓会としても世界に羽ばたく人材を応援していきたいと思えます。

昨年は衛生看護分校が本校に統合され、また東北大地震によって、校内の防災計画の見直をせまられ、校内の配置を再検討されつつあります。それを踏まえて、百周年の事業の記念碑建立などは延期・再検討課題になっています。皆様から寄せられた記念事業資金も積み残っています。学校当局と協議を重ねて、資金を有効に活用したいと存じます。最後になりましたが、新米会長に對して、同窓生の方々の厚いご支援を、お願い申し上げます。

桑高のさらなる発展をめざして



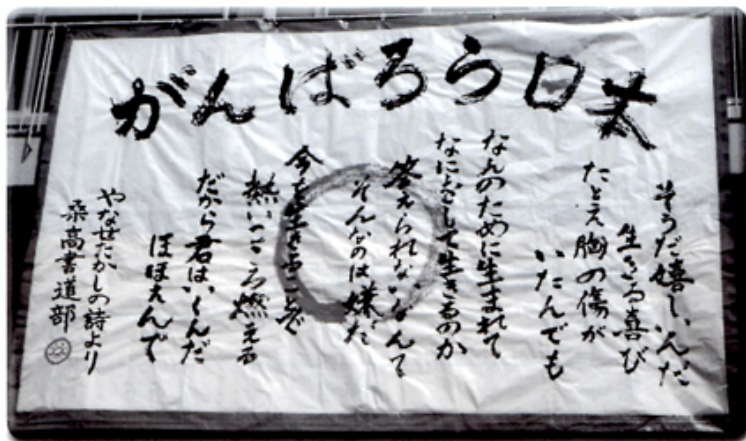
桑名高等学校長

川本 健

平成23年度は、直前に起きた東日本大震災のことを抜きにしては語れません。このような悲しい出来事は起こらない方がよかったです。

した。

23年8月に奈良国立博物館学芸部長 長西山厚さんのお話を聞きました。西山さんは、人間3歳になれば何でも理解できるとい



も信念で、子どもたちに伝統文化の本質を教える活動を続けてみえます。そのお話しの中で、「知るといふ事は大切である。本当に知ると世界が変わる。」と言われました。その言葉に、自分はまだまだ当に知るに至っていません。大震災で起こった出来事の様子を振り返りました。

「本当に知る」ことの厳しさについて、さらに重ねて気づかされるこ

とがその後ありました。教育の場でもっとも大切にしなければいけない人間性への配慮というものについて、

切な思いがあれば何があっても生きられるといった力に気づかされま

本当に私は知っていたのか、自問自答しました。ある縁で小島順彦三菱商事株式会社社長と直接お話をする機会がありました。その折に、3つのC(Curiosity好奇心、Challengenge挑戦、Communication対話)に加えて最近「Courtesy」を4つ目のCとしてお聞きしました。しかしお話をよく聞くと、その意味は単なる「礼儀正しさ」という意味ではなく、相手を理解しようとする真剣に努める事が根底にある礼儀正しさだと感じました。振り返って自分自身の行動を省みたときに、そのCourtesyが欠けていたと思ひ至りました。さらに、小島さんに、どのような人材を欲しますかとお聞きしたら、「挫折を味わった事があり、それを乗り越えた経験を持つ人」と即答されました。それは不完全であつても前向きな可能性をもっている事を重視するという意味だと理解しました。われわれは現在のままでこれからも続くのではなく、さらによくなつていくという可能性を大事にして、桑高のさらなる発展を期していきたいと思ひます。

桑名高校同窓会を思う

桑名高校同窓会 副会長

森田好博

(桑高九回生)



私は今回の役員改選で副会長に選ばれました。森田好博です。昭和三十

二年桑名高校全日制の卒業生です。

私が常日頃思っている同窓会について申し述べます。同窓会は卒業した学校ごとにもいろいろあります。小学校、中学校、高等学校、そして大学と各人いろいろな同窓会があると思ひます。小学校では六年間クラスは違つても同じ学校に通学し、どの学年かで同じ教室で机を並べて勉強しました。また、中学校では三年間同じ学び舎に通学し、同じように高校も3年間で。高校はわが桑名高校同窓会の様に卒業生全体の組織としての同窓会が存在している高校が大半だと思われまふ。高校の同窓の友人は、小中学校の同窓の友人とは少し違つたものになります。なぜなのでしょう。

高校になると入学試験で選別されて、いろいろな中学校から入学してきます。また、卒業するとそれぞれ違った人生を歩み始めます。例え同じ大学で同じ学部に進学したとしても全く違った人生を歩んでゆくことになりまふ。私の場合、小学校、中学校の同窓会は卒業時のクラス会が

数年に一度くらいしか開催されまふ。ほとんどそれぞれ出席いたしまふ。その場合の会話は学校時代の話題がほとんどです。それが高校の同窓会になりますと開かれる回数が大変多くなります。その上呼びかけには本当にたくさん人数が集まります。また話題が本当に広くなります。そして大変親しい関係が出来ます。それぞれに経験してきたことに皆が共感し、興味を持って話題にします。また本当に心を開いて話ができます。そのことがまたこれから自分が歩んでゆく道程の指針となると思ふからではないでしょうか、これから卒業する人にとってはおそらくその違いがまだ理解できないと思ひますが、私もすでに七十三才になりました。同級生はほとんど現役を退いています。また何人かの友人を既に亡くしています。同窓会の基本は同級生の集まりです。桑名高校同窓会では各学年に学年幹事があり、そしてそれぞれの代表として学年代表幹事があります。学年幹事の皆さんには毎年開かれる幹事総会の案内が発送されます。また学年代表幹事の皆さんは同窓会の運営委員会へ出席していただくことになっています。その委員会は毎年三回程開催され、同窓会の会務の企画審議および運営に各学年を代表してご意見をいただいております。それが今の桑名高校同窓会の姿です。

それぞれ各学年で同窓会を開いて

いただくことは四〇才くらいまでは難しいかもしれまふが、私たちの学年は卒業二十年目から最初は五年毎に、その後は三年毎、二年毎となり、六十才を過ぎるころからはほとんど毎年何らかの形で開催してまふ。どの学年もとはいかないかと思ひますが、何らかの形で学年ごとの同窓会を開催していただければ桑名高校同窓会はもつと活気のあるものになると思ひます。平成二十年に百年の記念総会が開催され、一つの区切りがありました。しかしいろいろな事情で先延ばしになつていゝる事がまだまだあります。皆様の同窓会に対する意識をもう一段上げていただき、桑名高校同窓会がもつと活気あるものにしていただきたいと思います。



雪の桑高

います。過日ある講演会で興味ある話をききました。元大蔵省の官僚で、現在ベトナムで簿記の普及推進をしておられる方ですが、ベトナムではいかなる形のものでも同窓会は存在しないとわれれました。日本は有史以来他の国の属国になったことがない国である。そのことが国民の中に「絆」を大切にして行く意識が生まれたのではないかとお話でした。昨年の東日本大震災の時でもそうでした。日本人が「絆」を大切にすること、いろいろなところ、大きな意味を持ちました。そのような意味からも同窓会は同じ学校で学んだということが「絆」として縦の関係であっても横の関係であっても大きな意味を持つものになっているのではないかと思えます。これからも桑名高校同窓会がますます発展してゆくことを願いたします。

定時制60周年記念行事を終えて

定時制部会長

加藤 武夫



卒業生の皆さん、卒業おめでとうございませう。昨年未曾有の災害に見舞われ、日本もいよいよ政治も経済もどん底を迎えています。「グローバル社会」という掛け声の中で混沌とした社会は、弱者が排除されようとしています。そんな中で迎える卒業

は皆さんにとっては大きな意味があると思えます。日本の将来がどうなるか皆さんの双肩にかかっています。同窓生の絆を大切にしながら、新しい未来を開拓する旗手となる気構えで頑張っていたいただきたいと思えます。ところで、今年度定時制は60周年を迎えました。これを記念して昨年の7月3日に記念

の同窓会を桑名シティホテルで開催いたしました。64名の参加が得られ、和気藹々のうちに終わることが出来ました。

また総会に先立ち桑名市メディアライブで、記念講演会を開催しました。講演会は、名古屋学芸大学長の井形昭弘先生を招いて行いましたが、「老いに負けない生き方」をお話いただきました。

「老人力」というのを見直すべきという話で、高齢化社会を迎えて老人問題がクローズアップをされていますが、老人は人生経験も豊富で蓄積も多い、この力を利用せずにいるのはもったいない。PPPK(びんびんコロリ)のことを熱心にお話いただき、聴いた方から「元気が出た」



定時制同窓生記念文化祭の展示

「いい話やった」という感想を寄せていただきました。また、7月1日から3日まで、同窓生記念文化祭と銘打って、文化の各界で活躍する同窓生の作品展を開催し、好評を博しました。2日間は夜間もオープンしてみる方の便宜を図りました。観客は延べ

300名で、予想を超える方々が見てくださいました。同窓生も多く、会員の力作に目を見張り、また、思い出の写真コーナーでは食い入るように入り、同窓生同士で昔話に華を咲かす光景もしばしばでした。桑名高校の川本学長、藤田教頭先生も立ち寄っていただきました。特別講演の講師の井形学長もご覧頂きレベルの高さに感心してお見えでした。何の能力もない私は、定時制同窓生の皆さんの奮闘振りに改めて感心させられました。部会としてこれまでにない大掛かりな事業を行いました。準備は大変でしたが世代を超えての交流もあり、楽しい文化祭でした。ご協力いただいた学年幹事の皆さん

始め出展いただきました皆様に、この場を借りて厚くお礼を申し上げます。

加えてささやかながら60周年記念文集も編集中で、間もなく印刷発行の予定です。在学当時の思い出から卒業後の苦労話まで数は少ないのですが、面白い読み物になっていますので是非ご閲覧ください。

新たな出発

岡野 良子

(衛生七回生)



桑名高校同窓会の皆さまには、ますますご健勝で活躍のこととお慶

び申し上げます。

今年度は、我が衛生看護科が分校校舎から、本校へと移った記念の年であります。三月の卒業式には、衛生看護科として、本校から初めての卒業生が旅立ちます。とは言いますが、看護科は御承知のように、五年一貫教育にて、ほとんどの方がそのまま専攻科として、桑名高校に残り、二年後の看護師国家試験を受けるまでを引き続き、桑名高校にて学ぶこととなります。

先日、その桑名高校の衛生看護科の校舎を訪問して参りました。1階が職員室と本科生の教室、2階に実習室等、3階が専攻科生の教室と

なっておりました。正直、分校校舎と比べると、やや手狭な印象は受けましたが、実習ベットの並んだ実習室、母子看護実習室や沐浴設備、講義室など、分校校舎の面影があり、懐かしく思いました。今年度の入学生以外の先生や生徒のみなさんには、今迄慣れ親しんだ校舎との比較で、いろいろと感じることもあると思いますが、どうか、早く新しい環境に慣れて、また、これからも高水準の看護教育を習得する場として、多いに張り切って頂きたいと思えます。

また、部活や文化祭も、これまでは分校内で行われていましたが、今は、部活も本校生と同じで、幅広い選択が可能になり、また、文化祭も桑高祭として盛大な規模で開催されるようで、衛生看護科生だけの時とは違ういろいろな体験を積むことができるのも楽しみです。どうか看護科以外の桑高生とも大いに友好の和を広げていかんことを希望致します。きっと、これらはすべて実社会に出ていく上で、プラス要素になると思えますから。

そして、これからも、心身ともに健全で、優れた看護サービスを提供できる能力を備えた人間性豊かな看護師の養成の場として、桑名高校衛生看護科が、ますます発展されますことを祈念致します。と、同時に、看護や介護、そしてさまざまな医療分野でご活躍の卒業生の皆様のますますのご活躍・ご健康を祈念致します。

して、会報のあいさつとさせて頂きます。

【東京支部】

海外から「頑張れ！日本」

支部長

渡辺 穰 二

(桑高二十三回生)



桑名高校同窓会
会員・教職員・ご
家族の皆様、ご卒
業される皆様と

もに、新年をお慶び申し上げます。

昨年は、何と言っても3月11日の東日本大震災、それに続く原発事故が、日本のみならず世界を震撼させましたが、卒業生やその関係者にも影響を受けた方々がおられたのではと、深くお見舞い申し上げます。

石油会社でプロセス・エンジニアをしていた私には、大事故に苛立ちと煩悶が続きましたが、仕事をしてきたモンゴルやケニアの人たちから心温まる言葉とともに、日本の歴史や日本人の心の在り方までを尋ねられました。

あれだけの大きな危機に略奪も混乱の連鎖も起こらない日本に感心するケニアの高官(前回の大統領選での犠牲者数は、千人以上)。親日派が多くいち早く政府職員全員が給料一日分の寄付を決めたモンゴル政府に対し、前例がないと寄付を遅らせようとする日本の外交関係者。

中には、国の安定性に寄与しているらしいと、天皇制が羨ましいと言う人たちも。しかし、結局のところ、自分自身、または、自分の家族、地域、そして広く民族や自国を愛する気持ちの強さが、大切なのではないかと思うのです。

私が小学生の頃、「日本は、戦争をした悪い国。北朝鮮は、理想の国。」と教えられました。ついでに言えば、中学では、^①wiiliとbe going toの書き換え練習をさせられ、高等学校では、^②日本語と同じ文法は、朝鮮語とモンゴル語しかないと随分誤ったことを教えられた気がしますが、アフリカや旧ソ連地域などで調査していると、人類史上、桁外れの非人道的行為は、^③15、18世紀に続いたアフリカ西海岸の奴隷貿易と共産主義を掲げる国々における自国民の大量殺戮と思われまます。奴隷貿易は、文字文化がないため部族間の結束ができず、国家意識のない人々をヨーロッパ人が経済的利益のために略奪し続けた歴史であり、共産主義国における殺戮は、美しい理論で武装した醜い嫉妬と権力欲のリーダーによるものだと思われまます。

欧米、中国、南米を経て、後に駐日フランス大使となった詩人ポール・クロードルが、1943年パリの夜会で「私がどうしても減びてほしくない一つの民族があります。それは日本人です。・・・日本人は貧

しい。しかし高貴だ。」と言ったようですが、理由がよく理解できないのです。しかし、簡単に言えば、それは、私たち日本人が、不幸にあっても他人の前では微笑む表情であり、また、不幸な人を前に「自分は、幸福です。」と言わない心ではないでしょうか。

関係者が、数年前ロシア人にとつての好きな国を調査したら、フィンランド、ドイツに続き、なんと3位が日本だったそうですが、世界中の多くの日本ファンが見守る中、今回の大震災を経て我々日本人が、大戦後のように世界を驚かせるような復興ができるかどうか。

大きな困難には、必ず優れた人材が育つということを考えると、大いに期待できるのではないのでしょうか。ただ、若い方々は、未来を考えると、自分が変えられない要素から思考しないことです。未来は、あなたが誰か(出身、性別、学校、年齢、国籍など)を問うのでなく、何をすることが大切でしょう。多くの日本の試験は知識を問いますが、思考と行動が価値を創造します。偏差値は、個々人の未来を代表しないのです。

最後になりましたが、我が桑校同窓会においても、若い世代がますます活躍するようになることに期待しています。東京支部では、皆様のご参加を心からお待ちしております。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

(ケニア・ナイロビより)

- ① 英文契約書にw i i iしか出てこないように、元来用法・意味が違うので互換性がない。
- ② さらに西の中央アジア諸国からトルコまでの国々の言語が、日本語文法に近い。
- ③ 私の試算では、中国、ソ連、カソボジアなど被害者数は、計1億人を超える。

〔関西支部〕

母校への思い

支部長

鈴木英雄

(桑高三回生)



戦中から戦後へと世代は移り、男女共学の桑高が誕生し、あれから64回の卒業生の皆さん卒業おめでとうございます。在学中の創立百周年から東日本大震災など、その激動の体験を生かし、将来に備えて凜凜しい人生を是非送って下さい。

私達3回生当時の卒業式をふりかえると伊達校長が有名な作詞作曲家に依頼し、卒業間際に誕生したばかりの校歌を一回だけ練習して卒業式で歌い納めました。今でも毎会学年同窓会では黙禱と共に校歌を絆として歌っております。

私達の在校時代にも消える事のない記憶に残るものに、昭和23年6月度学校から田植の実習中、福井で

大きな地震がありました。裸足で泥土に塗れる女学生の白い素肌に見惚れ、楽しかったその日の昼間と比べ翌朝には報道写真で戦災を凌ぐ倒壊寸前のデパートビルを見て、一瞬極楽から地獄の思いを味わい、義援金も初めての経験でした。

つい最近、JR福知山線脱線事故で山崎前社長無罪確定控訴断念の記事を読み、6年前発行の会報24号を思い出し再読致しました。乗客106人と運転士(当時23歳)が死亡への思いを込めた107羽の連鶴で59回桑高生によりその遺族の心を癒したと言う全国放映された感動とは裏腹に遺族の無念な心境を思い胸が痛みます。理不尽な別れをした被害者の遺族側に立って今一度捜査を検証する必要・とするも、当時強烈な衝撃を受けた事故から7年も過ぎるのにこの始末では、懸命にボランティアの橋渡しをして下さった22回の加藤先生や10回の杉本副支部長はじめ、当時遺族と遠路交流面談をした59回桑高放送部の人達も屹度啞然としている事でしょう。

伊勢湾台風、阪神淡路大震災、去年の東日本大震災に見えない怖さの放射能と未だ未だ無常な事には切りがありません。

国の借金、年金の問題等、早く解決して若者の未来に夢のある像を作るためには骨身を惜しみませんが、オウム、拉致、と世の解決は思うようにいきません。

今、五木寛之さんの語りおろし全集で、人はみな大河の一滴を見聞しています。そこで不公平不平等をも受け入れる大切さを学びました。今こそ20年も前から伝わる桑名の連鶴で心を癒して心底から身の上話が出る友達となるには他には無く同窓の友が一番です。

最後に桑名高校同窓会皆様のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。

退任のご挨拶並びに桑中部会解散のご挨拶

桑高同窓会前会長兼前桑中部会会長

小林昭三

(桑中十八回生)



会員の皆様にはご清栄の段お喜び申し上げます。

私こと昨年、平成二十三年十二月十一日の幹事総会の修了の時を以って、桑高同窓会会長の役を退任させていただきました。

顧みれば、平成十五年秋に故水谷清作様が会長を退任されて一年間の空白の後、平成十七年の秋の幹事総会で会長に選任され、六年間を勤めさせていただいたのでありますが、微力で力不足な私が関係各位のご指導、ご協力によって、何とかその任を全うできたことを心から感謝申し上げます。六年間の在任中、特に桑高創立百

周年記念事業の遂行に当たりましては、森田好博実行委員長を始め、役員、委員の皆様には格別のお世話を掛けました。皆様は桑高のために桑高同窓会のために、自己犠牲の精神を以って、ご奉仕、ご精進賜ったご厚情に対して、心から敬意を表する次第でございます。また、桑高の川本校長先生始め、事務局、教職員の先生方にも大変ご指導、ご協力賜りましたことを厚くお礼申し上げます。次第でございます。

昭和二十三年学制改革により、県女、市女、桑中が合併して、新しい桑高が発足し、その後、同窓会も再編されて、桑高同窓会の中に県女部会、市女部会、桑中部会、全日制部会、定時制部会、看護部会と六つの部会が組織されておりましたが、この度、県女部会、市女部会と共に桑中部会も桑高同窓会から退会させていただきます。特に桑中部会は平成二十三年九月二十日に県立桑名中学校同窓会幹事総会を桑名シティホテルで開催し、桑中部会の退会と同時に解散することを決議されました。永年、桑高同窓会の中で、ご好誼を賜ったことを惜越ながら旧桑中部会を代表して感謝申し上げます。次第でございます。

最後に今後の桑名高校と桑名高校同窓会の益々のご発展を祈念して、重ねて感謝申し上げます。ご挨拶と致します。

平成23年度 桑名高校同窓会幹事総会 2011.12.11



卒業式 2011.03.01



対面式 2011.04.11



入学式 2011.04.08



スポーツ大会

2011.07.14~15



バスケットの決勝を終えて



バレー(女子)決勝戦



サッカー男子決勝を終えて

桑高祭

2011.09.09~10

体育祭

2011.09.16



インター杯でハードル入賞の
選手の選手宣誓

定時制卒業式



定時制修学旅行



主要大学の合格状況(全日制)

【過去5年間の大学合格実績】
(過年度生を含む延べ人数)

入試年度 大学名	2007	2008	2009	2010	2011	入試年度 大学名	2007	2008	2009	2010	2011
北海道大	4	2	2	2	1	青山学院大	3	3	3	3	5
東北大	1	0	0	0	0	中央大	10	6	13	10	6
筑波大	1	1	1	0	0	法政大	14	15	10	11	11
千葉大	1	2	0	1	1	上智大	3	3	3	0	0
一橋大	0	0	0	0	1	慶応義塾大	5	8	2	5	9
東京大	3	1	1	2	1	明治大	13	9	6	12	10
東京外国語大	0	0	0	0	0	日本大	11	10	5	4	7
東京工業大	1	0	1	0	1	立教大	2	0	0	3	1
お茶の水大	0	0	1	0	0	東京理科大	12	11	15	12	11
東京農工大	0	0	0	0	0	早稲田大	4	10	9	10	10
横浜国立大	2	0	1	0	3	愛知大	34	44	29	21	36
富山大	2	0	2	2	0	愛知学院大	19	13	15	5	14
金沢大	4	8	5	5	5	愛知工業大	11	11	21	10	9
信州大	5	7	7	6	7	愛知淑徳大	61	24	39	43	63
山梨大	0	1	0	1	2	金城学院大	27	17	30	14	20
静岡大	5	4	5	11	8	椋山女学園大	32	19	33	30	27
岐阜大	4	5	1	6	2	中京大	94	66	103	94	128
愛知教育大	4	10	6	9	4	名城大	92	89	11	78	96
名古屋大	18	14	17	10	19	南山大	60	105	121	101	151
名古屋工業大	9	13	12	11	13	皇學館大	8	18	8	16	13
三重大	34	28	33	32	66	同志社大	29	38	36	24	22
京大	2	2	2	3	6	立命館大	64	70	74	58	98
大阪大	3	5	1	3	2	関西大	42	33	28	27	14
神戸大	4	4	0	2	2	関西学院大	10	17	18	17	9
奈良女子大	1	2	0	1	0	その他の私立大	231	227	206	179	228
岡山大	1	2	0	0	0	私立大合計	891	866	938	787	998
広島大	2	0	0	0	1	三重短大	7	5	8	5	5
その他の国立大学	9	22	13	14	14	その他の国公立短	0	2	0	0	1
国立大学合計	120	133	111	121	159	国公立短合計	7	7	8	5	6
高崎経済大	0	1	4	1	0	名古屋女子大短大	1	4	2	0	0
首都大学東京大	1	3	1	0	1	南山短大	4	2	0	2	0
都留文科大	1	4	0	0	1	名古屋短大	3	2	6	4	0
静岡県立大	0	1	0	1	0	その他の私立短大	13	2	5	1	1
愛知県立大	9	4	10	3	5	私立短大合計	21	10	13	7	1
名古屋市立大	6	7	8	8	12						
岐阜薬科大	0	0	1	1	1						
大阪府立大	3	4	2	2	1						
その他の公立大	13	13	10	10	8						
公立大合計	33	37	36	26	29						
国公立大学合計	153	170	147	147	188						

平成23年度卒業生 同窓会クラス代表幹事

【全日制】

学年代表幹事	普通科7組	小林 勇登
普通科代表幹事	普通科1組	菱田 有希
理数科代表幹事	理数科9組	前田 将聡
1組 普通科	菱田 有希	中山はるな
2組 普通科	杉谷 謙次	安井 晴二
3組 普通科	岡田 依莉	小笠原史織
4組 普通科	山口 英莉	渡辺 彩水
5組 普通科	伊藤 優介	小山 大地
6組 普通科	菊井 智規	近藤 温子
7組 普通科	小林 勇登	山本 倅平
8組 普通科	佐藤 祐紀	水谷 耀大
9組 理数科	前田 将聡	早川聡一郎

【衛生看護科】

学年代表幹事 ◎早川 友章 伊藤 遥夏

【衛生看護専攻科】

学年代表幹事 ◎山崎 遙 小林 可奈

【定時制】

学年代表幹事 ◎糸田 幸慈 花井 千慧



平成23・24年度 桑名高校同窓会役員

平成23年12月11日に開催されました幹事総会におきまして下記のように新役員が決定されました。

会 長	西羽 晃(桑全 7回生)
副 会 長	森田好博(桑全 9回生)
	加藤武夫(桑定11回生)
	岡野良子(桑看 7回生)
理 事	上田広吉(桑全11回生)
	渡辺 醇(桑全13回生)
	山口典久(桑全13回生)
	加賀 修(桑全15回生)
	今村和子(桑全15回生)
	森 一蔵(桑全16回生)
	岡田順二(桑全18回生)
	竹山延幸(桑全20回生)
	福田正道(桑全21回生)
	加藤 寛(桑全22回生)
	西村治生(桑全23回生)
	長瀬 浩(桑全24回生)
	水谷康朗(桑全30回生)
	關目 博(桑定10回生)
	伊藤英明(桑定12回生)
	上田 泉(桑看10回生)
	廣田千秋(桑看12回生)
会計監事	辻内倫夫(桑全14回生)
	水谷宗嗣(桑全21回生)
	萱野治道(桑全26回生)



『桑高百年』

「三重県立桑名高等学校創立百年記念誌」がこのほど刊行されました。

A4版約700頁(うち口絵32頁)ご希望の方は下記へ、お振込み下さい。

「ゆうちょ銀行」

◎振替口座番号：00890・4・87537

◎加入者名：桑名高校同窓会

◎金 額：8000円(送料・消費税共)

桑名高校同窓会 平成22年度事業及び会計報告

平成22年度 事業報告

(平成22年8月1日～平成23年7月31日)

- 平成22年8月4日(水)～9日(月)
 桑名高校創立百周年記念卒業生作品展(後期)
 桑名市民会館展示室
- 平成22年8月4日(水)～8日(日)
 桑高百年展 桑名市博物館
- 平成22年8月7日(土)
 桑名高校同窓会百周年記念講演会
 桑名市民会館小ホール
- 平成22年10月10日(日)
 桑名高校同窓会運営委員会
 大山田コミュニティプラザ
- 平成22年10月26日(火)
 桑名高校同窓会百周年実行委員会記念事業部会
 桑名高校
- 平成22年11月17日(水)
 桑名高校同窓会百周年実行委員会記念事業部会
 桑名市民会館
- 平成22年11月21日(日)
 桑名高校幹事総会 桑名シティホテル
- 平成22年12月12日(日)
 桑名高校同窓会百周年実行委員会記念事業部会
 桑名市民会館
- 平成23年2月28日(月)
 桑名高校同窓会入会式 桑名高校
- 平成23年3月1日(火)
 会報「桑高同窓会」No.29号「百周年記念号」(No.2)発行
- 平成23年4月29日(金)
 桑名高校同窓会運営委員会及び歓送迎会
 桑名市民会館
- 平成23年7月3日(日)
 桑名高校定時制創立60周年記念総会
 桑名シティホテル
- 平成23年7月1日(金)～3日(日)
 桑名高校定時制創立60周年記念同窓生文化祭
 くわなメディアライブ

平成22年度 会計報告

(平成22年8月1日～平成23年7月31日)

	科目	予算	決算	増減
収入の部	入会金	2,000,000円	2,075,000円	75,000円
	会費	600,000円	546,000円	-54,000円
	広告料	100,000円	0円	-100,000円
	受取利息	5,000円	18,780円	13,780円
	雑収入	50,000円	65,000円	15,000円
	前期繰越金	14,718,968円	14,718,968円	0円
	合計	17,473,968円	17,423,748円	-50,220円
支出の部	総会費	550,000円	488,812円	-61,188円
	会議費	300,000円	189,438円	-110,562円
	印刷費	1,000,000円	1,083,435円	83,435円
	通信費	300,000円	363,777円	63,777円
	慶弔費	10,000円	100,000円	90,000円
	支部助成金	200,000円	200,000円	0円
	卒業記念品	350,000円	323,503円	-26,497円
	交通費	30,000円	10,000円	-20,000円
	雑費	150,000円	338,806円	188,806円
	予備費	14,583,968円		
	合計	17,473,968円	3,097,771円	
	次期繰越金		14,325,977円	

財産目録

(平成23年7月31日現在)

資産の部	現金		150円	150円
	定期預金	桑名信用金庫	2,019,775円	2,019,775円
	普通預金	桑名信用金庫	9,519,245円	12,278,454円
		郵便普通貯金	2,759,209円	
	立替金	百周年記念実行委員会	27,598円	27,598円
	資産合計			14,325,977円
負債の部				
	差引純財産			14,325,977円

百周年記念事業

桑名高等学校創立百周年記念事業について

桑名高等学校創立百周年記念事業につきまして、平成20年より記念募金を行いましたところ、皆様より多大のご寄付をいただき、厚くお礼申し上げます。

桑名高校同窓会では、皆様のお意向をくみながら検討を重ね、百周年記念碑及び体育館の緞帳を寄贈すべく、準備を進めておりましたところ、学校側より右記の文面による見合わせの要請を受け、しばらく中断せざるを得なくなりました。また三重県および三重県教育委員会においてどのような防災計画等が決定されるか全くわかりません。そのような観点から平成23年度幹事総会において、すべてを白紙とし、三重県および三重県教育委員会において防災計画等が策定されるまで、百周年記念事業の決定を見合わせることにいたしました。皆様には誠に申し訳ないこととなりましたが、いただきました記念募金は本会計の預り金とし、特別会計として処理いたしますのでご了承のほどをお願いいたします。なお防災対策が決定され次第、改めて協議し記念事業を決定し、実行いたしたいと思っております。なお平成23年11月20日現在の百周年記念事業会計は下記の通りです。よろしくご了承の程をお願い申し上げます。

創立百周年記念事業

1. 創立百周年記念式典及び記念講演 桑名市民会館
(平成21年10月10日)
2. 創立百周年記念祝賀会 長島温泉 花水木
(平成21年10月11日)
3. 吹奏楽部楽器一式
(平成21年10月)
4. 放送部ビデオ撮影機及び編集ソフト一式
(平成21年10月)
5. 卒業生作品展及び記念講演 桑名市民会館
(平成22年7月25日～8月9日)
6. 桑高百年展 桑名市博物館
(平成22年8月4日～8月7日)
7. 創立百周年記念誌「桑高百年」刊行(平成22年9月)

桑名高等学校同窓会
会長 小林昭三 様

三重県立桑名高等学校長 川本 健

東日本大震災後の学校安全確保について(依頼)

日頃は桑名高等学校の充実発展に向けて同窓会の皆様から多大のご支援ご協力をいただき深く感謝しております。

さて、同窓会の皆様が、桑名高等学校創立百周年記念碑及び体育館緞帳を学校へ寄付すべく計画を進めてきていただいておりますことに、学校を代表してお礼申し上げます。

しかしながら、この度の東日本大震災を受けて各県立高校は、今後公表されるハザードマップ等を踏まえた防災計画等の見直しや、生徒の安全確保に向けた取組、施設設備の点検等を進めるなど、3.11以前に決めた方針の再検討が求められております。加えて、桑名高等学校では管理棟(A館)の耐震工事が来年度施工予定となりました。今後の進展次第では、既存の記念碑等の移動や補強の可能性もあります。

つきましては、東日本大震災という新たな事情を生じましたので、記念碑及び緞帳の寄付については暫時お待ち願いたく、ここにご依頼申し上げる次第です。学校の生徒だけでなく住民の避難個所としても安全な場所となるようにするため、ご理解とご協力をお願いいたします。

百周年記念事業会計中間報告

(平成23年11月20日現在)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
記念募金	38,108,585円	記念事業費	14,483,233円
記念祝賀会(同窓会)	4,500,000円	記念誌	7,070,040円
記念誌(1冊8,000円)	1,440,000円	部活動助成金	4,825,518円
		桑高百年展	292,340円
		記念モニュメント	42,840円
		その他の事業費(卒業生作品展ほか)	2,252,495円
		記念祝賀会	6,553,643円
		記念募金及び同窓会案内	5,219,223円
		名簿整理費	308,133円
		募金等振込手数料	298,940円
		事務費	220,956円
合計	44,048,585円	合計	27,084,128円
差引残高			16,964,457円

同窓会のあゆみ

- 明治42年1月29日 桑名郡立高等女学校設立の建議
43年4月5日 桑名郡立高等女学校第1回入学式
- 大正10年4月 桑名町立裁縫女学校開校
11年4月1日 郡立高女は三重県立桑名高等女学校となる
12年4月5日 三重県桑名中学校(桑名町立)第1回入学式
13年4月29日 桑名町立裁縫女学校を廃止し、桑名実業女学校開校
15年4月1日 三重県桑名中学校は三重県立桑名中学校となる
- 昭和10年7月1日 桑名実業女学校は桑名町立青年学校女子部となる
12年4月1日 桑名町立青年学校女子部は桑名市立となる
13年4月1日 桑名市立青年学校女子部は桑名市立実科高等女学校となる
18年4月1日 市立実科高等女学校は桑名市立高等女学校となる
23年5月12日 桑中・県女・市女が統合。三重県桑名高等学校として発足
8月1日 定時制課程併置
28年1月11日 桑中・県女・市女・桑高各同窓会が統合。三重県桑名高等学校同窓会を結成
30年4月1日 三重県立桑名高等学校と改名する
43年11月24日 桑高創立20周年記念総会開催
49年4月1日 衛生看護分校設置
52年4月1日 衛生看護分校に衛生看護専攻科設置
53年10月10日 桑高創立30周年記念総会(於)市民会館
54年11月3日 県女創立70周年記念総会
55年8月10日 体育館鍛冶寄贈記念総会
58年5月8日 桑高創立35周年記念総会(於)諸戸邸・市民会館
10月 東洋ベアリング桑名桑洋会結成
59年11月11日 東京支部結成
12月9日 幹事総会(於)桑名シティホテル
60年3月16日 市女創立60周年記念総会(於)桑名シティホテル
4月25日 県女創立75周年記念総会(於)桑名シティホテル
61年12月7日 幹事総会(於)中日パレス
62年9月20日 幹事総会一桑名市長を囲む会(於)桑名シティホテル
63年3月17日 芸術館竣工にともない陶芸電気窯寄贈
9月5日 「会員名簿」を発行
10月30日 40周年・会員名簿発行記念総会(於)長島温泉ホテル「花水木」
11月13日 東京支部総会(アラスカ)
- 平成元年11月23日 桑高同窓会関西支部結成
12月3日 幹事総会(於)桑名シティホテル
2年4月13日 県女創立80周年記念総会
8月19日 幹事総会(於)名古屋都ホテル
3年8月25日 幹事総会(於)桑名シティホテル
10月27日 定時制40回記念総会
4年8月9日 桑中創立70周年記念総会
9月20日 幹事総会(於)桑名シティホテル
11月1日 第2回関西支部総会
11月8日 第3回東京支部総会
5年5月27日 県女創立85周年記念総会
10月24日 85周年記念総会「県女創立の地」記念碑建立(於)長島温泉ホテル「花水木」
分校築庭寄贈
体育館舞台幕一式、視聴覚室暗幕一式贈呈
会員名簿発行
6年11月27日 幹事総会(於)桑名シティホテル
- 平成7年10月15日 幹事総会(於)桑名シティホテル
11月12日 第3回関西支部総会(なにわ会館)
8年1月9日 増地克之氏柔道優勝記念碑寄贈
6月22日 定時制45回記念総会
11月17日 幹事総会(於)桑名シティホテル
23日 第4回東京支部総会(渋谷東急ゴールデンホール)
9年11月9日 幹事総会(於)桑名シティホテル
10年5月13日 県女創立90周年記念総会
11月1日 90周年記念総会(於)長島温泉ホテル「花水木」
11年10月2日 幹事総会(於)桑名シティホテル
11月14日 関西支部創立10周年第4回総会(於)舞子ビラ
12年4月10日 市女創立80周年記念同窓会
11月12日 幹事総会(於)桑名シティホテル
11月25日 第5回東京支部総会(於)渋谷東急ホテル
13年6月10日 定時制創立50周年記念同窓会(於)桑名シティホテル
11月18日 幹事総会(於)桑名シティホテル
14年4月1日 衛生看護分校が5年一貫教育を開始
11月23日 幹事総会(於)桑名シティホテル
15年5月15日 県女創立95周年記念総会
10月25日 創立95周年記念総会(於)桑名平安閣
10月31日 衛生看護科創立30周年講演
11月8日 関西支部第5回総会
16年10月10日 幹事総会(於)桑名シティホテル
11月28日 第6回東京支部総会
17年10月15日 定時制幹事総会(於)桑名シティホテル
10月29日 幹事総会(於)桑名シティホテル
18年6月25日 定時制創立55周年総会
10月22日 幹事総会(於)桑名シティホテル
19年9月25日 桑名高校創立百周年記念事業実行委員会設置(於)桑名高校
10月14日 幹事総会(於)桑名シティホテル
20年5月15日 県女創立百周年記念同窓会(於)桑名シティホテル
10月19日 関西支部20周年記念第6回総会
10月26日 幹事総会(於)桑名シティホテル
11月16日 東京支部25周年記念第7回総会
21年10月10日 創立百周年記念式典(於)桑名市民会館
10月11日 創立百周年記念総会(於)長島温泉ホテル「花水木」
22年7月25日 創立百周年卒業生作品展
～8月9日 (於)桑名市民会館
8月4日 桑名百年展
～8月8日 (於)桑名市博物館
9月 創立百周年記念誌「桑高百年」刊行
11月21日 幹事総会(於)桑名シティホテル
23年7月3日 桑名高校定時制創立60周年記念総会(於)桑名シティホテル
7月1日 桑名高校定時制創立百60周年記念同窓生文化祭
～7月3日 (於)くわなメディアライブ
9月20日 桑名中学校同窓会幹事総会(解散総会)(於)桑名シティホテル
12月11日 桑名高校同窓会総会(於)桑名シティホテル